



2019年5月28日

先週の回顧

カナダ・ドルは、対円で下落しました。また、カナダ5年国債利回りは低下しました。

米国がカナダからの鉄鋼、アルミの追加関税を撤廃したことはカナダ経済にプラスの効果をもたらすと期待が市場で広がったため、カナダの金利は週前半は上昇しました。しかし週後半は、米国のファーウェイに対する制裁を受けて多くの企業が取引停止を公表するなど米中貿易摩擦懸念の強まりが意識されたことを背景に金利は低下基調に転じました。また、原油価格の下落やカナダ金利の低下を受けて、カナダ・ドルは下落しました。

経済指標では小売売上高が発表され、前月から改善したことから、カナダ資産にとってはプラスの材料となりました。

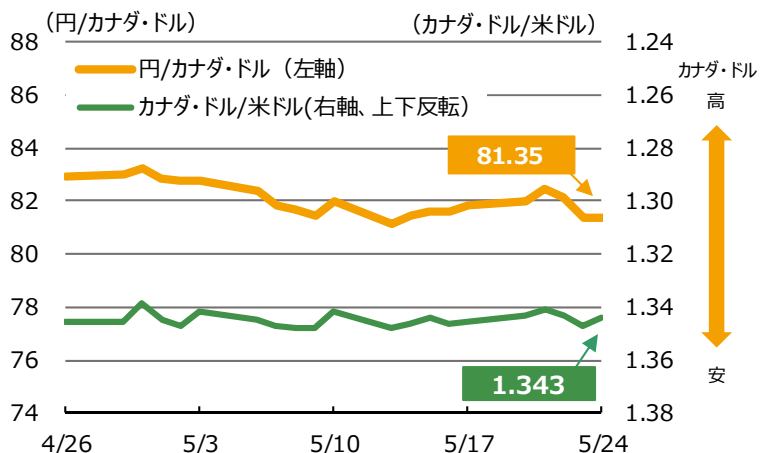
今週の見通し

今週、カナダでは金融政策決定会合の開催が予定されており、市場では政策金利の据え置き予想が優勢となっています。また、2019年第1四半期のGDP（国内総生産）の発表があり、前回から改善することが見込まれています。良好な結果になればカナダの金利、通貨の上昇圧力につながる事が期待されます。

一方、足元では米中貿易摩擦の激化懸念を背景に株価、原油価格が軟調に推移しており、カナダの金利、通貨の上値を抑えることが見込まれます。

カナダ・ドル 為替推移

(2019年4月26日～2019年5月24日)

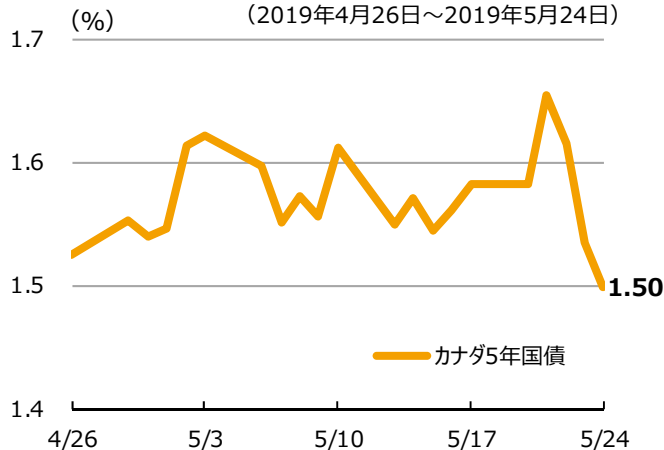


※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

カナダ 金利推移

(2019年4月26日～2019年5月24日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。